

# **消防くん V1 から V3 へのデータ移行マニュアル**

## 消防くん V1 データの取り出し方法

消防くん V1 にて作成したデータを V3 へ変換するため、V1 データ保存場所確認の必要があります。

報告書データの拡張子は.sbh となりますので.sbh を検索し格納先を確認してください。  
コピー方法は結果に応じて 1~3 のいづれかの方法にて実施してください。

**1 報告書データ (.sbh) の格納先が消防くん V1 の標準格納先 (C:¥CBO¥SBWIN¥Dat) の場合、**

Dat フォルダをコピーし消防くん V3 をインストールした PC 内の任意の場所に貼り付けてください。

**2. 報告書データ (.sbh) の格納先が様々な場所の場合、**

.sbh ファイルを検索しコピーして任意のフォルダを作成し作成したフォルダへ貼り付けてください。

貼り付け後任意のフォルダを消防くん V3 をインストールした PC 内の任意の場所に貼り付けてください。

**3. 報告書データの格納先が様々な場所で消防くん V3 に変換した際フォルダ構成を維持して変換させたい場合**

V1 から V3 へフォルダ構成を維持して変換させたい場合、windows のコマンドプロンプトより Xcopy コマンドを利用して.sbh ファイルをコピーする必要があります。

Xcopy 実施後はコピー先にフォルダ構成 (ディレクトリ) が維持されたまま V1 の報告書ファイルのみがコピーされます。

※コマンドプロンプト呼び出し方法

PC 右下の windows マークを選択→すべてのプログラムよりアクセサリを選択→コマンドプロンプトを選択

※コマンドプロンプトに以下のコマンドを入力

(例) C ドライブ直下の甲フォルダ内からデータをコピーし E の USB メモリ内の乙フォルダへ貼り付けをする場合のコマンド。

**xcopy /s "C:¥甲¥\*.sbh" "E:¥乙¥"**

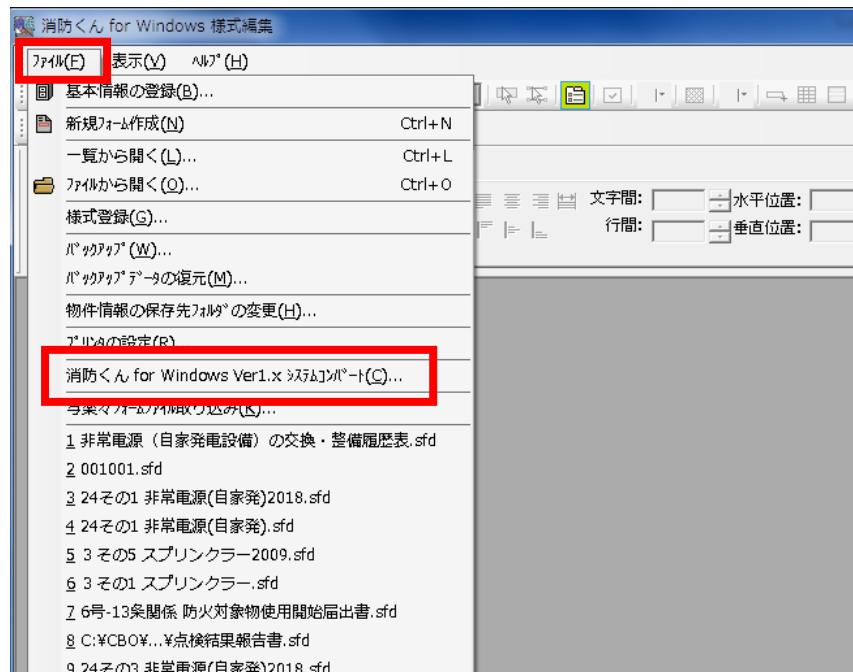
(“ダブルコーテーションの前は半角のスペースが入ります）

上記コマンド実施後、コマンドプロンプト内でコマンドが実行され終了時はファイルをコピーしましたとのメッセージが表示されます。

コピーしたフォルダは、消防くん V3 をインストールした PC 内の任意の場所に貼り付けてください。

## 消防くん V3 での V1 からのデータ変換

消防くん V3 様式編集の起動を実施。 様式編集画面ファイル (F) より消防くん forWindows Ver1.X システムコンバートを選択



システムコンバートにて報告書データが格納されているフォルダを選択。

(フォルダの参照画面では SBWIN フォルダをしていしていますが、報告書ファイル (.sbh) が格納されてるフォルダを選択してください)

(注意：システムコンバートを選択した際、旧バージョンのインストール先フォルダを指定下さいと表示されますが、必ず報告書データが格納されているフォルダを選択してください)



格納されているフォルダを選択したら OK をクリックしてください。

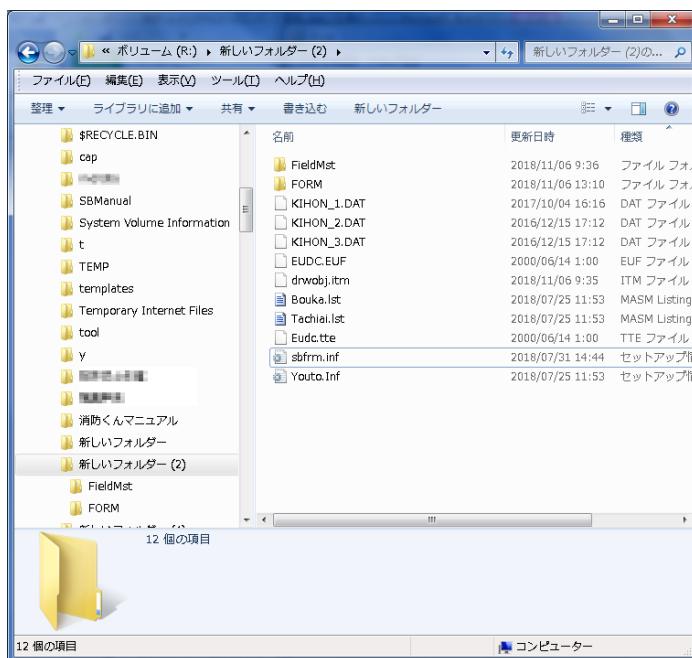
コンバートが開始されます。

## ・報告書以外のデータの引き継ぎ

報告書データ以外のデータは手動にてコピーが必要となります。

以下のデータを V1 よりコピーしてください。

コピー元のデータは C : ¥CBO¥SBWIN フォルダ内に格納されています。



### ※コピーするファイルとフォルダ

- ・ FieldMst フォルダ=入力履歴データ
- ・ FORM フォルダ=各種報告書フォームファイル
- ・ Kihon1~4 =会社名、点検者、消防署、測定機器などの基本情報データ
- ・ EUDC.TTE 及び EUDC.EUF=外字データ
- ・ drwobj =図形ファイル
- ・ sbform=フォームの登録情報
- ・ bouka=物件情報内の防火管理者情報
- ・ tachiai=物件情報内の立会者情報

上記ファイルはすべて C : ¥CBO¥SBWIN フォルダ内に格納されています。

上記ファイルをコピーしたら消防くん V3 がインストールされているパソコン内 C : ¥CBO¥SBCLI¥の中に上書き貼り付けを実施してください。

こちらにて消防くん V1 から引き継ぎできるデータの変換はすべて完了となります。